

平成22年度第8回看護学部教授会議事録

開催場所	302講義室	開催日時	平成23年1月12日(水) 16:00~19:00
出席者	(学部長) 桑名佳代子 (教授) 安齋由貴子, 伊藤ひろ子, 遠藤芳子, 小野幸子, 塩野悦子, 関戸好子, 武田淳子, 徳永恵子, 長澤治夫, 中塚晴夫, 原玲子, MargaretChang, 真覚健, 峯岸直子, 宮林幸江, 山田嘉明, 弓谷行宏 (准教授) 桂晶子, 荻部明彦, 北岡晃子, 佐々木久美子, 菅原よしえ, 高橋和子, 高橋方子, 只浦寛子, 萩原潤, 山岸利次 (講師) 阿部幹佳, 鹿野裕美, 竹本由香里 (助教) 阿部智美, 井口巴, 岩岡美樹, 大池真樹, 大沼珠美, 小野寿江, 小山妙子, 河原畑尚美, 佐藤ゆか, 澤口利絵, 菅原亜希, 鈴木敦子, 相馬衣都, 田中美江, 西村亜希子, 橋本翼, 平尾由美子, 松尾尚美, 山田志枝, 渡邊志乃 (54名中出席者51名) 事務部学務課 佐々木GL, 大津主任主査		
欠席者	吉田俊子, 小松幸恵, 長岡芳久	(職位別50音順, 敬称略)	
署名者	桑名佳代子, 桂晶子		
議 事 内 容			
<p>1 開会</p> <p>2 議事</p> <p>(1) 第7回教授会議事録の確認及び第8回教授会議事録署名人の指名について 平成22年12月8日に開催された第7回教授会の議事録の確認について諮られ, 原案のとおり承認された。続いて本教授会議事録署名人として桂晶子准教授が指名された。</p> <p>(2) 審議事項</p> <p>①各委員会提出事項</p> <p>[教務委員会]</p> <p>○未登録科目の履修登録について 下記のとおり共通教育科目である「地域社会論」を履修登録漏れであった学生の履修登録について諮られ, 審議の結果履修を認めることが承認された。 ・対象学生: 看護学部1年 <学籍番号> ○○○○ ・対象科目: 地域社会論</p> <p>○平成23年度非常勤講師任用について 平成23年度の家族社会学の非常勤講師を○○○○の○○○○とすることが諮られ, 原案のとおり承認された。</p> <p>[予算・財政委員会]</p> <p>○平成22年度予算の執行について 総合補償制度W i l l による新たな個人情報漏えい保険に加入することとし, 保険料34,800円を支出することが諮られ, 審議の結果承認された。</p> <p>○平成23年度当初予算要求について 平成23年度当初予算に係る支出予算調書, 経費節減候補リストが示され, 事業概要及び各領域等からの要求内容を全て含んだ上で前年度比99%であること等の説明がなされた上で審議がなされ, 原案どおり承認された。</p> <p>②新規科目担当教員について 3名の教員から新たに授業科目を担当する旨の申請があったことについて諮られ, 次のとおりとされた。</p> <p>・高橋方子准教授 看護援助技術論Ⅰ, 看護援助技術論Ⅱ及び看護援助技術論Ⅲを新たに担当(共同担当)することが諮られ, 審議の結果承認された。</p> <p>・小野幸子教授 老年看護援助論Ⅰについて, 現担当の宮林幸江教授が主担当となり新たに小野教授が共同担当となる内容の申請であったが, 次のとおり小野教授を主担当とし宮林教授を共同担当とする内容に資料を訂正の上, 小野教授が新たに当該科目を担当することについて諮られ, 審議の結果承認された。</p> <p>(訂正理由) 本日開催の運営会議において, 導入部分を小野教授が担当すること及び担当時間数の割合等から小野教授を主担当とすることが妥当であるという意見があり, このことを両教授に確認すること</p>			

とされ、確認の結果小野教授を主担当とする内容で本教授会に諮ることとなったもの。

- ・只浦寛子准教授
新カリキュラムとして平成23年度から新たに開講する成人看護援助論Ⅲを担当することについて諮られ、審議の結果承認された。

③人事について

最初にこれまでの人事案件について、次のとおり桑名学部長から報告がなされた。

- ・広域看護学分野在宅看護学領域の教授に〇〇〇〇の採用が決定したこと。
- ・広域看護学分野在宅看護学領域の助教に現在成熟期看護学分野老年看護学領域の〇〇〇〇が領域を異動することが決定したこと。
- ・成熟期看護学分野成人看護学領域の助教2名を公募していたが、このうちの1名として〇〇〇〇の採用が決定したこと。
- ・テニユア・トラック制による審査により、〇〇〇〇がテニユア審査に合格したこと及び〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇の3名の再任が決定したこと。
- ・〇〇〇〇、〇〇〇〇及び〇〇〇〇の3名から昇任人事に係る個人調書（簡略版）の提出があり、「看護学部教員の昇任人事に関する申合せ」に基づき運営会議で審議の上理事長に提出した人事計画書が理事会において認められたこと。
- ・成熟期看護学分野老年看護学領域助教1名の公募に係る人事計画書が理事会において認められたこと。
- ・11月30日までとしていた成熟期看護学分野老年看護学領域准教授1名の公募に応募がなかったことから、1月21日を応募締め切りとした再公募に係る人事計画書を理事長に提出し、理事会において認められたこと。

次に次第に基づき昇任人事及び成熟期看護学分野老年看護学領域助教1名の公募に係る選考委員の選出を行うことが学部長から説明され、投開票立会人として安齋由貴子教授、伊藤ひろ子教授が指名された。

○昇任人事に係る選考委員の選出について

理事会において人事計画書が承認された昇任人事3件について、教員人事規程第9条第3項に基づき単記無記名投票による選考委員の選出が行われ次のとおり決定した。

- ・〇〇〇〇の昇任人事に係る選考委員
〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇
- ・〇〇〇〇の昇任人事に係る選考委員
〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇
- ・〇〇〇〇の昇任人事に係る選考委員
〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇

○教員公募に係る選考委員の選出について

成熟期看護学分野老年看護学領域助教1名の公募に係る選考委員について、単記無記名投票による選出が行われ次のとおり決定した。

- ・選考委員
〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇

④その他

特になし

(3) 報告事項

①教育研究審議会報告

下記教育研究審議会の審議事項及び報告事項等について、資料により報告がなされた。

- ・第19回教育研究審議会（11月17日開催）
- ・第20回教育研究審議会（12月15日開催）

②運営会議報告

前回教授会以降に開催された下記運営会議の審議事項及び報告事項等について報告がなされた。

- ・第21回運営会議（12月14日開催）
- ・第22回運営会議（12月20日開催：臨時）
- ・第23回運営会議（12月22日開催）
- ・第24回運営会議（1月12日開催）

③全学委員会報告

[研究委員会]

研究委員会委員である長澤教授から、研究委員会内に設置された監査チームにより平成21年度研究費を対象に行った普通監査結果が報告され、特に改善を図る必要があるとされた事項について注意喚起がなされた。

④学部各委員会報告事項

〔学生委員会〕

- 履修科目がないことを理由として次のとおり休学申請があり、運営会議において承認されたことが報告された。
 - ・学 生 看護学部3年 〈学籍番号〉 ○○○○
 - ・休学期間 平成23年4月1日から平成23年9月30日までの6か月間
- 平成22年度卒業証書・学位記授与式について、日程、前年度との変更点等について説明がなされた。
- 平成23年度入学式について、日程等について説明がなされた。
- 今年度の「保護者の集い」について、参加者数及び参加者を対象としたアンケート結果の報告がなされた。

〔教務委員会〕

- 卒業研究発表会の日程、会場及び準備・運営に係る教務委員会と卒業研究担当教員との役割分担等について説明がなされた。
- 教務委員会が作成を担当する基礎ゼミ、総合実習及び卒業研究の3科目のシラバスについて説明がなされた。
- 平成23年度科目等履修生等提供科目について、さきに学部内に照会し取りまとめた結果が資料として示され、提供科目の確認が行われたが特に修正意見はなかった。

〔キャリア開発委員会〕

- 平成22年度卒業予定者に係る平成22年12月16日現在の内定状況について報告がなされた。
- 平成22年10月24日に行われた平成22年度第2回看護師模擬試験結果概要及び平成22年10月31日に行われた平成22年度第2回保健師模擬試験結果概要について報告がなされた。
なお、看護師模擬試験で成績A～DのうちC、Dの学生については、12月22日に特別学習会を行ったこと、平成23年1月に看護師・保健師の模擬試験が予定されており、この模擬試験の結果によって解説会及び疫学、統計、保健福祉行政論の特別講義を行うことの説明がなされた。

〔入学試験委員会〕

- 1月15日、16日の両日に予定されている大学センター試験への業務協力についての依頼がなされた。
- 編入学入試合格者10名のうち1名から、本日入学辞退の連絡があったことが報告された。
- 入学試験実施予定日は入学試験業務を最優先とし、業務割当の有無に関わらず入試以外の予定を組むことのないよう注意喚起がなされた。
- 推薦入試の際の面接方法に対し、後日某高校から圧迫感を感じる面接が行われたのではないかという申し入れがあったことが報告され、質問内容や発言等、面接にあたっては受験生の心境に配慮するよう注意喚起がなされた。

⑤その他

本学が参加している日本看護系大学協議会コアカリキュラム検討会から「看護学士課程におけるコアとなる看護実践能力と卒業時到達目標に基づく評価」に係る照会があったことから、専門基礎科目担当を含む各教員に対し、担当科目について所定の様式に記入するよう遠藤教授から説明された。
なお、記入方法については、看護学部受付に用紙を備え付け、各教員が直接記入することとされた。

(5) その他

特になし

以上

議事録署名人

氏名 桑名 佳代子 ㊟

氏名 桂 晶子 ㊟